

学外研修報告書（日本蘚苔類学会第 53 回宮崎日南大会）

フィールド科学系部門 生物科学班

内田慎治

はじめに

今回の学外研修は日本蘚苔類学会への参加および共著者がポスター発表を行った。大会への参加は、特に市民と関わりの深い学芸員の方と交流し、宮島自然植物実験所が市民に開かれた広島大学の玄関口のひとつとしての働きをするためにはどうすればよいか考えるための情報収集を目的とした。

期間・場所

期間：令和 6 年 9 月 6 日から 9 月 8 日

場所：日南市小村寿太郎記念館をメイン会場とする飫肥城下町

主張内容

9 月 6 日は、始発で宮崎へ向かい、公開記念講演（講師：広島大学 山口富美夫 教授）を拝聴した。

9 月 7 日は、9 時に開会式が行われ、午前中に一般講演が行われ、午後からポスター発表行われた。

16 時ごろから日本蘚苔類学会総会が行われ、コケの森の認定式が行われた。

9 月 8 日は、日南市北郷町猪八重溪谷にてエクスカージョンが行われた。13 時ごろに解散し、坪田先生と学生 2 名と熊本県へ調査に向かった。9 日に帰広。

発表タイトルなど

牧野富太郎博士による採集の新種とされたコケ植物（未定稿）

内田 慎治（広島大・技セ）・関 太郎*（広島県廿日市市）

まとめ・感想

今回の蘚苔類学会は 87 人の参加者で、（特非）西条自然学校、国立科学博物館・植物研究部研究院の方、高知大学工学部講師の先生など多くの方の話を聞いて大変勉強になりました。また、今回のポスター発表においても今後、論文としてまとめるうえで有益なアドバイスなどを頂き有意義な学会でした。